



佐波川水系

住民アンケート結果報告について

平成25年3月21日

国土交通省
中国地方整備局

- 佐波川水系の川づくりに関するアンケート調査は、佐波川の現状に関する沿川住民の意識調査として平成19年度に実施したが、今回、前回のアンケート実施後、平成21年7月洪水や平成23年3月11日東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生したことから、洪水被害に対する意識や、防災に対する意識の変化を把握するため、再度、アンケートを実施した。
- 今回の設問項目は、平成19年度に実施したアンケートの設問項目に加え、「防災への意識の変化」に関する設問項目を追加し、実施した。

前回と今回のアンケート概要の比較

項目	前回アンケート	今回アンケート	備考
実施期間	平成19年6月～ 平成20年3月	平成23年11月～ 平成24年1月	平成21年7月（梅雨前線）、東日本大震災後の住民の洪水被害、防災に対する意識の変化を把握
配布方法	・小中学校での配布： 1～2月（小学校8校、中学校6校） ・イベントでの配布： 6～3月	・小中学校での配布： 11月（小学校8校、中学校6校） ・流域自治会へ直接配布： 1月	イベント参加者や小中学校保護者への無作為抽出により実施
配布区域	佐波川水系国管理区間の想定氾濫区域内	佐波川水系国管理区間の想定氾濫区域内	国管理区間の想定氾濫区域における住民意見を徴収
配布数	・小中学校配布：5279部 ・その他配布：772部	・小中学校配布：3938部 ・その他配布：710部	国管理区間の想定氾濫区域を対象に配布
回収数	2,794部 回収率 46.2%	2,277部 回収率 49.0%	

アンケート配布区域



注： 想定氾濫区域

- アンケートの回答者は、前回も今回も女性が多く、年齢構成は30～40代の方が70%を占めている。
- 職業別では、今回会社員が減少し主婦が増加している。

アンケート結果の概要(1/7)

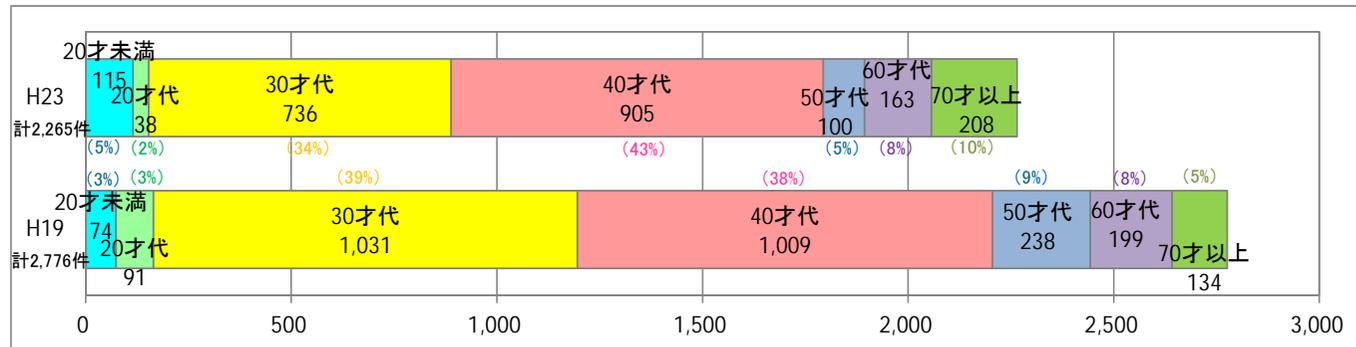
アンケート回答者の構成

【性別】



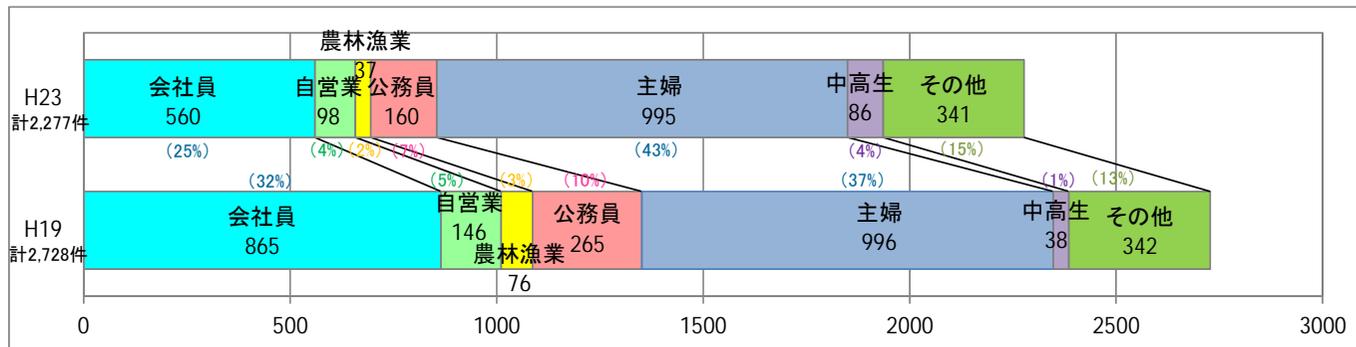
・回答者の性別では、前回も今回も女性の回答者が多い

【年齢】



・年齢構成も、前回と今回も、30～40代の方が70%以上を占めている

【職業】



・職業では、今回会社員が減少した
(前回865件→今回560件)

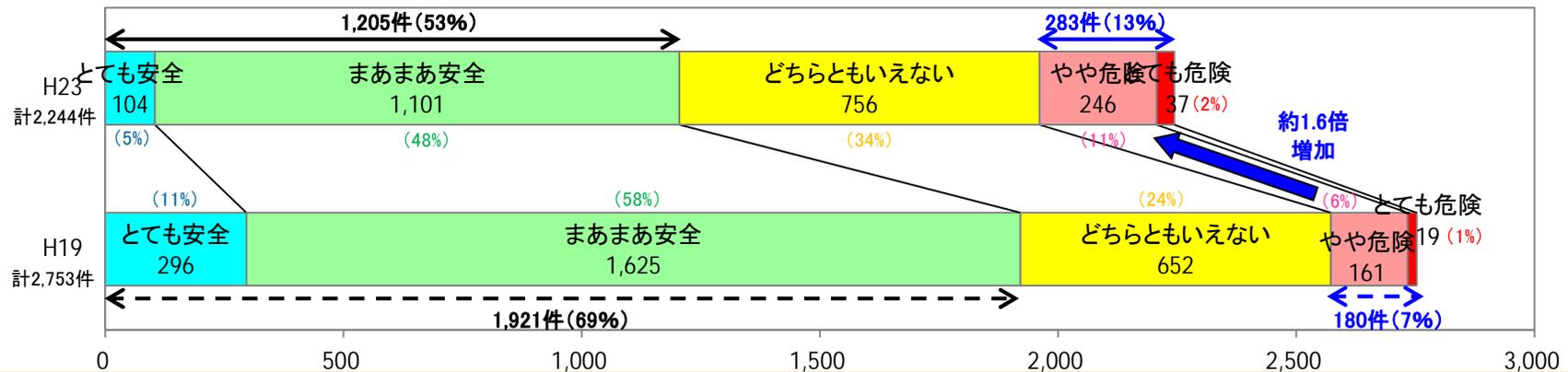
- 治水に関する設問に対しては、平成21年7月洪水等を受けて、前回に比べて今回は「危険」と感じている意見が約1.6倍増加したことから、更なる治水対策が望まれていると考えられる。
- 洪水被害の経験では、前回に比べて今回は「経験した」が2倍以上増加した。これは、平成21年洪水による被害を受けたことによる影響が大きい。

アンケート結果の概要(2/7)

【治水】洪水に対する安全性

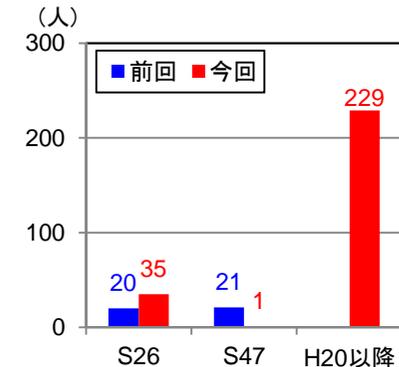
・「とても安全」、「まあまあ安全」が前回より減少し(前回1,921件(69%)→今回1,205件(53%))、「やや危険」、「とても危険」という意見数は前回の約1.6倍に増加した(前回180件(7%)→今回283件(7%))

注) () の件数は意見数を表す



洪水被害の経験

・洪水被害の経験は、前回211件に対して今回432件と約2倍以上増加した(前回211件(9%)→今回432件(19%))。特に平成20年以降の洪水による被害件数が増加しており、平成21年7月洪水の影響が大きい



注) 10人以上が被害があったと回答した年を記載

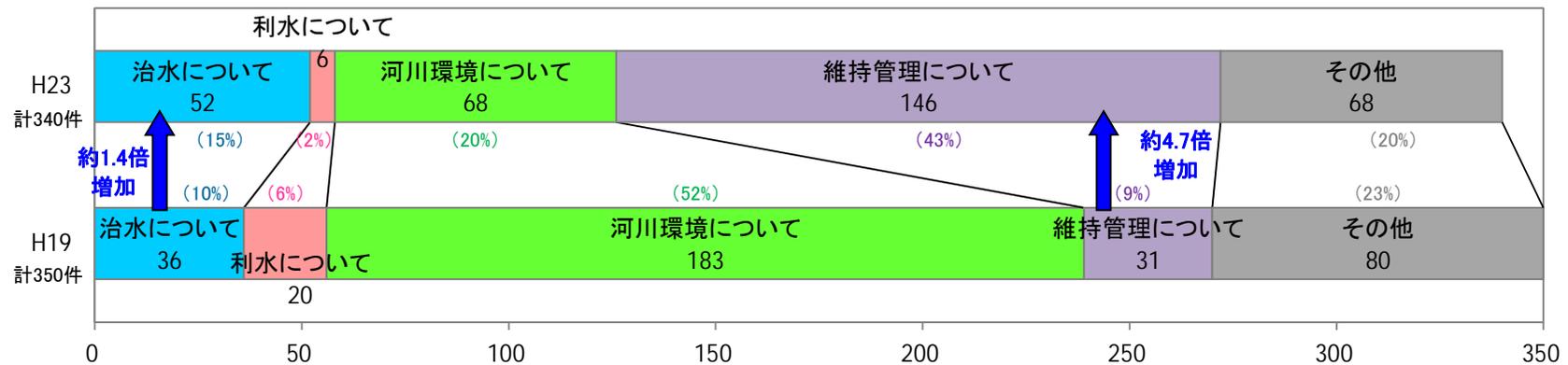
- 自由意見としては、治水や維持管理に関する意見数が増加している。
- 治水に関する自由意見としては、平成21年7月洪水による支川からの土砂流出や河川水位の上昇による被害を受けて、「土砂除去」や「流域対策（洪水に対し安全な川の整備等）」に対する意見が増加した。

アンケート結果の概要(3/7)

自由意見の分類結果

・自由意見数全体は、前回350件に対して今回340件とやや減少したが、治水に関する意見数は前回より約1.4倍増加し（前回36件（10%）→今回52件（15%））、維持管理に関する意見数は前回より約4.7倍増加した（前回31件（9%）→今回146件（43%））

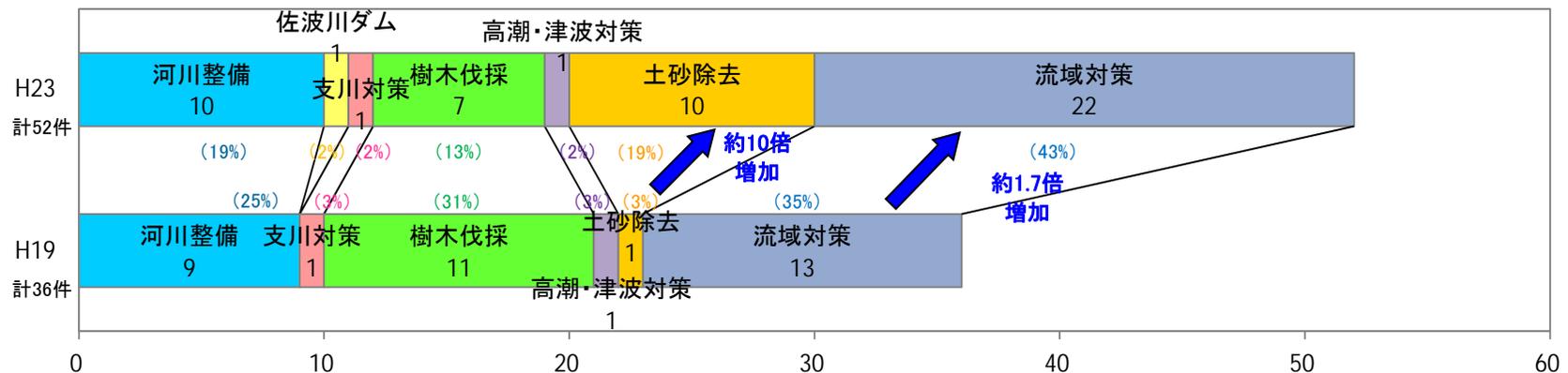
注) () の件数は意見数を表す



自由意見の治水に関する意見内容

・治水に関する意見数は、前回36件に対して今回52件と1.4倍に増加した。
 ・「土砂除去」に対する意見は10倍増加し（前回1件（3%）→今回10件（19%））、「流域対策」に対する意見は約1.2倍増加し（前回13件（35%）→今回22件（43%））、平成21年7月洪水による被害を反映した結果となった

注) () の件数は意見数を表す

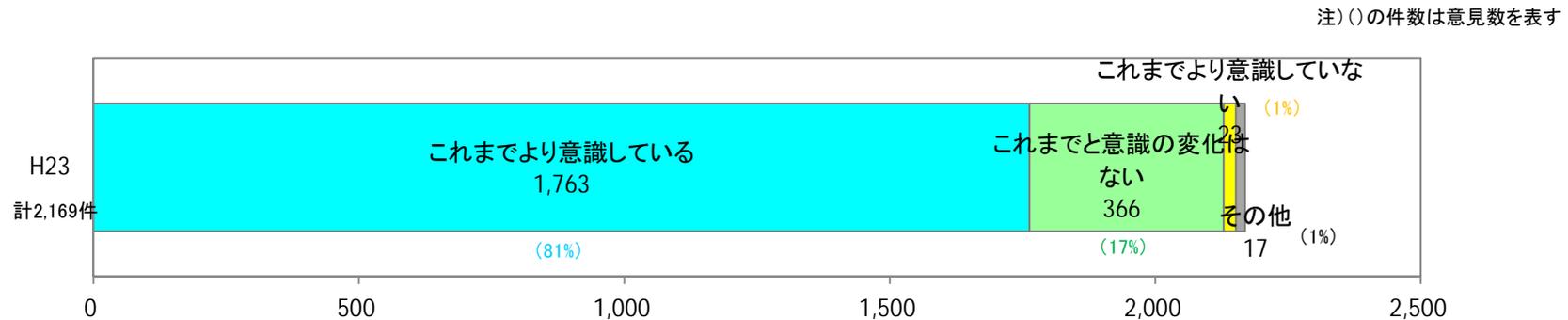


- 平成21年7月洪水のほか、東日本大震災の影響から、防災に対する意識が向上している。
- 利水に関する設問に対しては、前回に比べて今回は「水量が少ない」と感じている意見が6%減少した。

アンケート結果の概要(4/7)

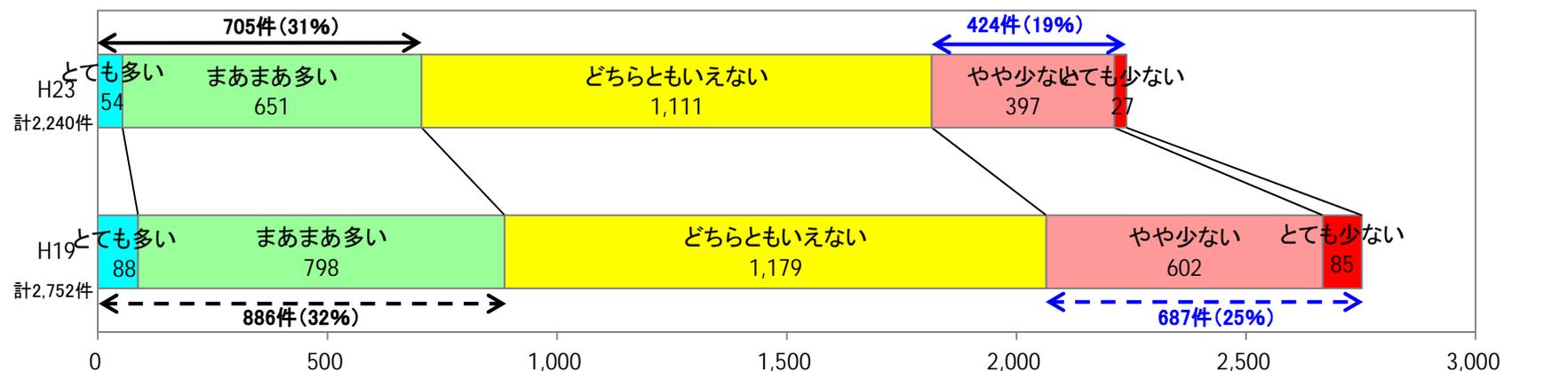
【治水】 防災への意識の変化

・今回、初めての問いであるが、「これまでより意識している」という意見が1,763件(81%)あり、平成21年7月洪水や東日本大震災の影響から、防災意識が向上している。



【利水】 河川における水量

・「とても多い」、「まあまあ多い」については前回同程度の割合であるが、「やや少ない」、「とても少ない」という意見は前回602件(25%)→今回397件(19%)へ減少している



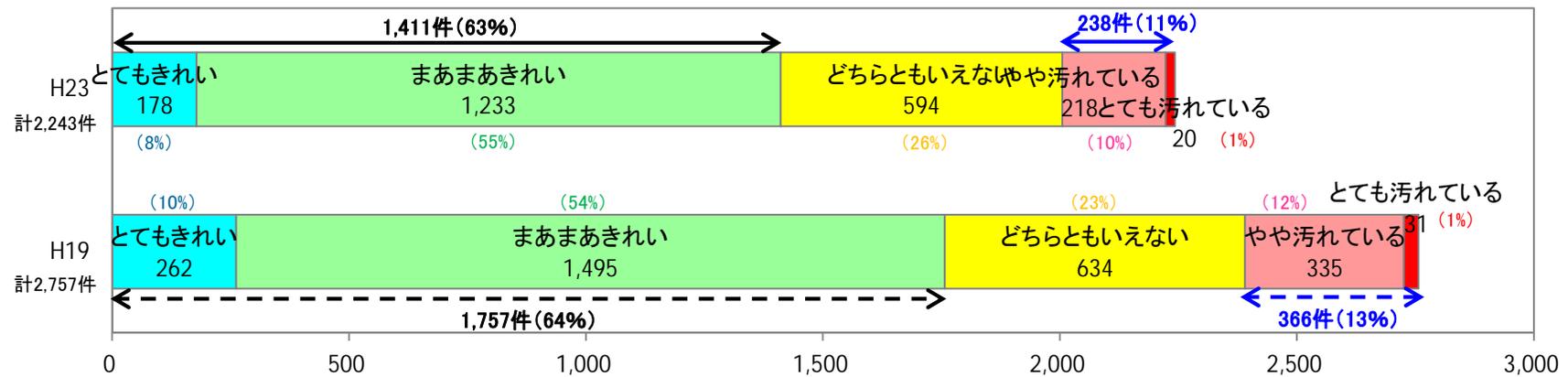
■ 自然環境のうち、水のきれいさ及び緑の豊かさに関する設問に対しては、前回と今回で傾向は変わっていない。

アンケート結果の概要(5/7)

【自然環境】水のきれいさ

・「とてもきれい」、「まあまあきれい」または「やや汚れている」「とても汚れている」とも前回同程度の割合であり、傾向は変わっていない

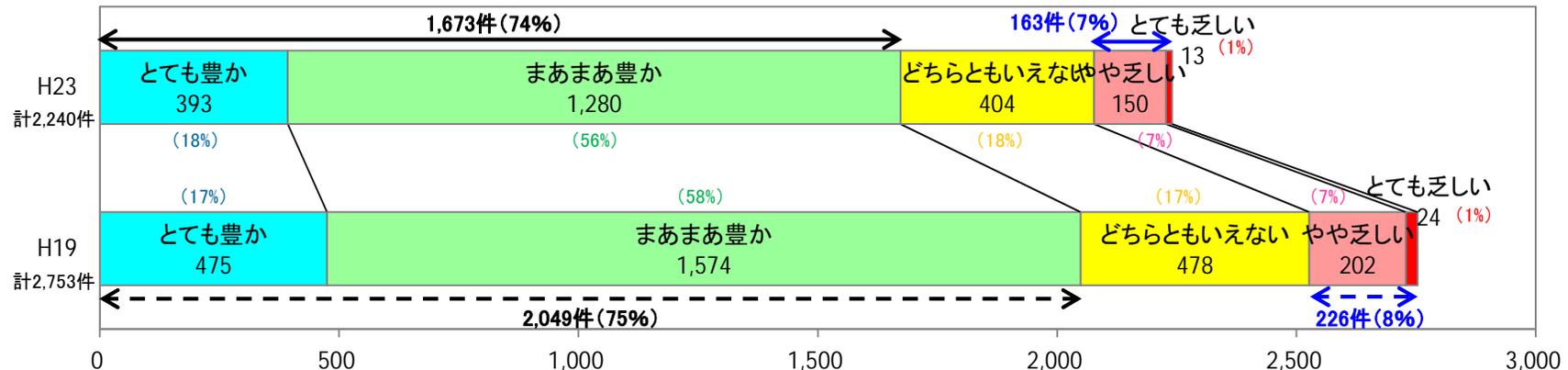
注) () の件数は意見数を表す



【自然環境】緑の豊かさ

・「とても豊か」、「まあまあ豊か」または「やや乏しい」「とても乏しい」とも前回同程度の割合であり、傾向は変わっていない

注) () の件数は意見数を表す



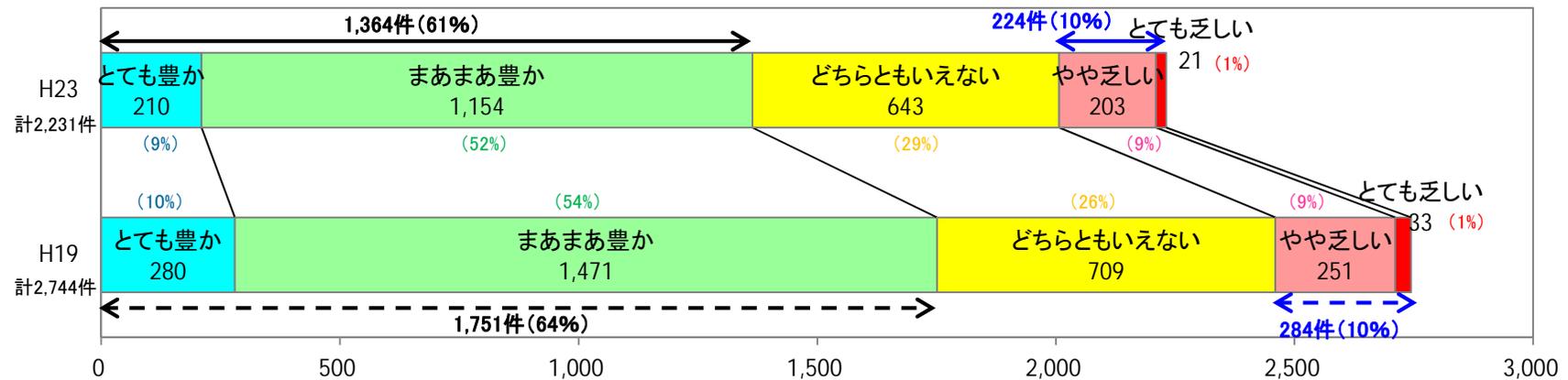
- 自然環境のうち生物環境に関する設問に対しては、前回と今回で傾向は変わっていない。
- 空間利用・地域連携に関する設問に対しては、前回と今回で傾向は変わっておらず、「整備されている」と「整備されていない」と感じている意見がほぼ同程度であった。

アンケート結果の概要(6/7)

【自然環境】生物環境

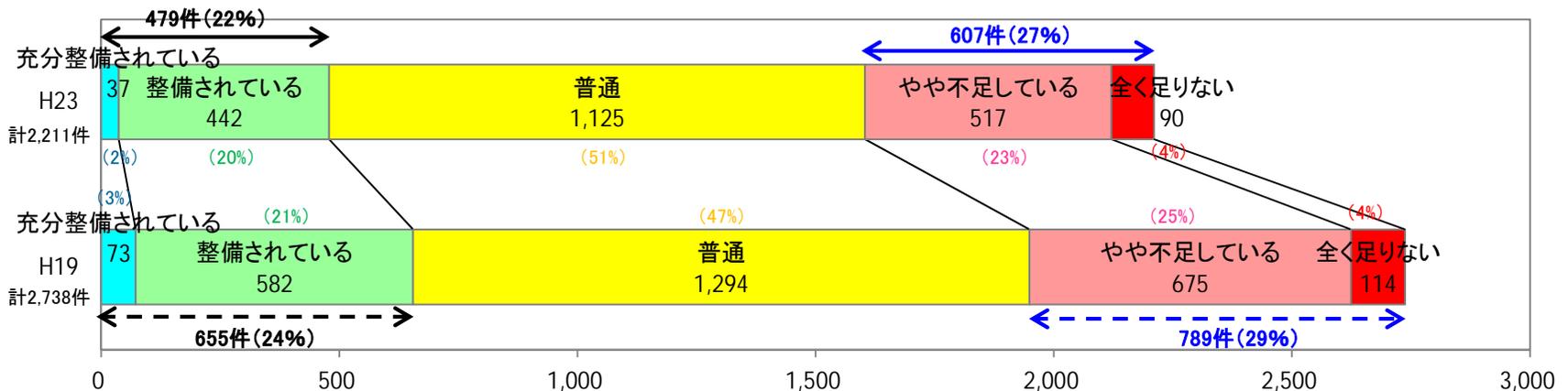
・「とても豊か」、「まあまあ豊か」または「やや乏しい」「とても乏しい」とも前回同程度の割合であり、傾向は変わっていない

注) () の件数は意見数を表す



【空間利用・地域連携】施設整備

・「十分整備されている」、「整備されている」または「やや不足している」「全く足りない」とも前回同程度の割合であり、傾向は変わっていない



■ 自由意見では、河川利用に関する意見が最も多く、利用し易い河川空間の整備を望む意見が多い。

アンケート結果の概要(7/7)

【自由意見】

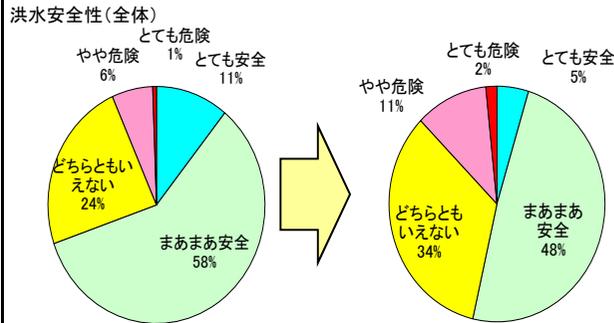
項目	自由意見の傾向	自由意見の内容
回答数=52 治水	<p>治水(河川整備) 15 治水(佐波川ダム) 1 治水(支川対策) 1 治水(樹木伐採) 10 治水(高潮・津波対策) 10 治水(土砂除去) 10 治水(土砂除去:支川) 1 治水(流域対策) 20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防を高くしたり、頑丈にするなど安全対策を今以上に実施してほしい。 ・河道の流れを広々としてほしいので、樹木を伐採してほしい。 ・津波の河川遡上に対する「防災計画」を立案してほしい。 ・河道内の土砂や樹木を取り除いてほしい。 ・大雨が降っても洪水の心配がない、安全・安心な川にしてほしい。 ・人の手をこれ以上入れる必要はない。
回答数=6 利水	<p>利水(湯水対策) 5 利水(農水対策) 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日照りが続いても、水不足による被害が生じない、水の量が豊かな川にほしい。 ・水道水の節水意識の高揚を図ってほしい。 ・水は観光の為よりも、農作物の為に、利用してほしい。
回答数=64 環境	<p>環境(河川景観の保全) 10 環境(水質改善対策) 15 環境(水質保全) 5 環境(ホテルの保全) 5 環境(生態系保全) 30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を良くするために樹木を取り除いてほしい。 ・緑豊かな自然の景観を感じることが出来ない。 ・いつまでもキレイな水がたくさんある佐波川であってほしい。 ・いつまでもホテルの飛び交う美しい川であってほしい。 ・これ以上施設を増やさないでほしい。今の環境を維持して自然豊かな故郷として維持してほしい。 ・多くの生物が生息しやすいよう、人が入れない場所を確保してほしい。
回答数=146 河川利用	<p>河川利用(イベント) 35 河川利用(マナー向上) 10 河川利用(空間利用) 40 河川利用(広報活動) 15 河川利用(親水整備) 50</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の花やベンチ、トイレを整備してほしい。楽しめる場所であれば利用料をとっても良いと思う。 ・佐波川についての情報をもっと市民が知ることが出来るといいと思う。 ・安全に水遊びができる箇所を整備してほしい。 ・マナーの向上を図ることと、注意書きの看板を設置してほしい。 ・人工的な施設は希望していない。
回答数=68 維持管理	<p>維持管理(河川情報) 10 維持管理(ゴミ対策) 20 維持管理(支川) 1 維持管理(樹木伐採) 5 維持管理(巡視) 1 維持管理(除草) 15 維持管理(不法投棄) 15 維持管理(佐波川ダム) 1 維持管理(洪水予測) 1 維持管理(超過洪水) 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早めの避難の呼びかけや避難してからどうしていくのかなどを考えてほしい。 ・ゴミの不法投棄が散見される。 ・ゴミを回収や不法投棄が発生しないように見回りを実施してほしい。 ・水辺に近づくことができるよう、除草をしてほしい。 ・「想定外」の事態にも対処できる安全な環境が望ましい。

アンケート調査は、イベント参加者や小中学校保護者への無作為抽出により実施した。
 平成17年度に同様のアンケートを実施したが、その後、平成21年7月洪水の被害を受けており、その影響を把握するため平成23年度に再度実施した。
 平成17年度の結果に対し、平成23年度洪水に関して「安全」と感じている意見が15%減少した。

治水

平成19年度
 洪水安全性 n=2,542
 (上記以外 n=252除く)

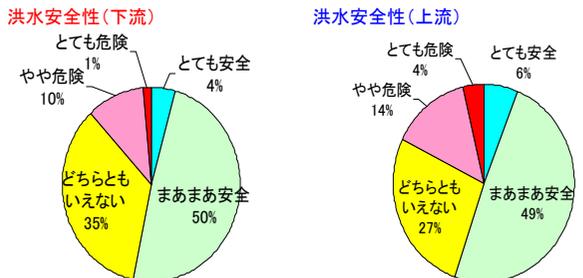
平成23年度
 洪水安全性 n=2,244
 (上記以外 n=33除く)



平成19年度調査

平成23年度調査

平成23年度
 上下流別の洪水安全性
 下流 n=1992
 上流 n=285



平成23年度調査

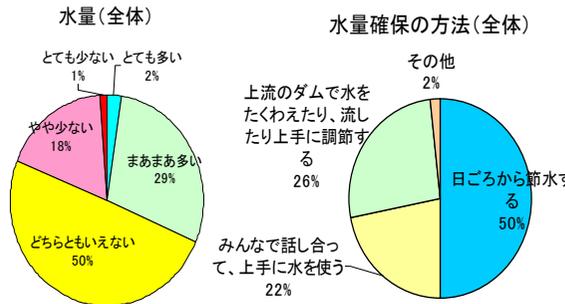
平成23年度調査

治水に関しては、近年の被害等を受けて「安全」と感じている意見が15%減少、さらなる治水対策が望まれている。

利水

水量 n=2,240
 (無回答 n=37除く)

水量確保の方法 n=2,234
 (無回答 n=43除く)



利水に関しては、新規取水施設への要望より、節水対策、取水調整やダムの有効活用による水量確保を望んでいる。

自然環境

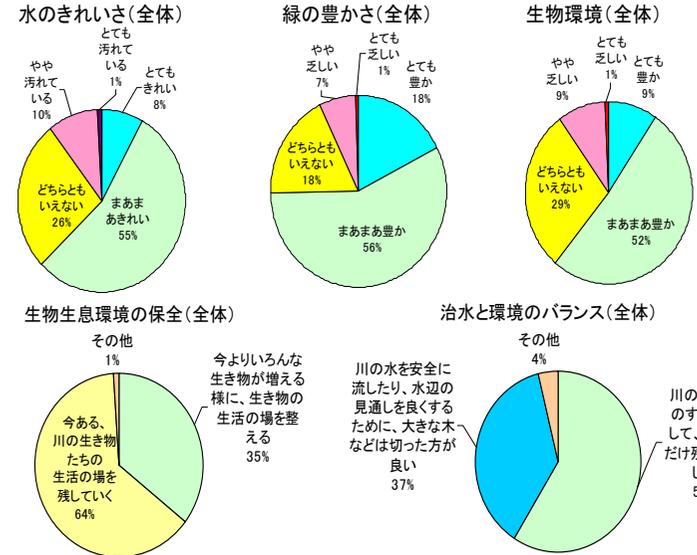
水のきれいさ n=2,243
 (無回答 n=34除く)

緑の豊かさ n=2,240
 (無回答 n=37除く)

生物環境 n=2,231
 (無回答 n=46除く)

生物生息環境の保全 n=2,197
 (無回答 n=80除く)

治水と環境のバランス n=2,187
 (無回答 n=90除く)



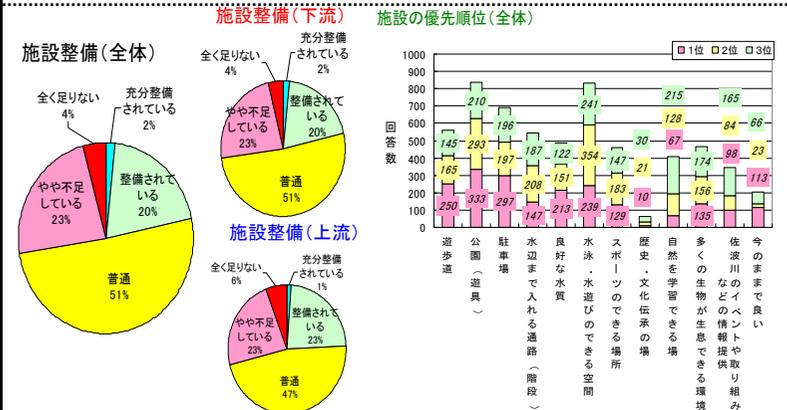
自然環境に関しては、水質、生物の生息生育環境、河道内樹木とも現状の維持・保全を望んでいる。

空間利用 地域連携

施設整備 n=2,221
 (無回答 n=66除く)

上下流別の施設整備
 下流 n=1933
 上流 n=278

施設の優先順位複数回答可 n=5,892
 (無回答 n=939除く)



空間利用・地域連携に関しては、河川空間を利用した施設整備(水泳・水遊びのできる空間等)を望んでいる。

※治水以外のアンケート結果は、すべて平成23年度に実施結果